

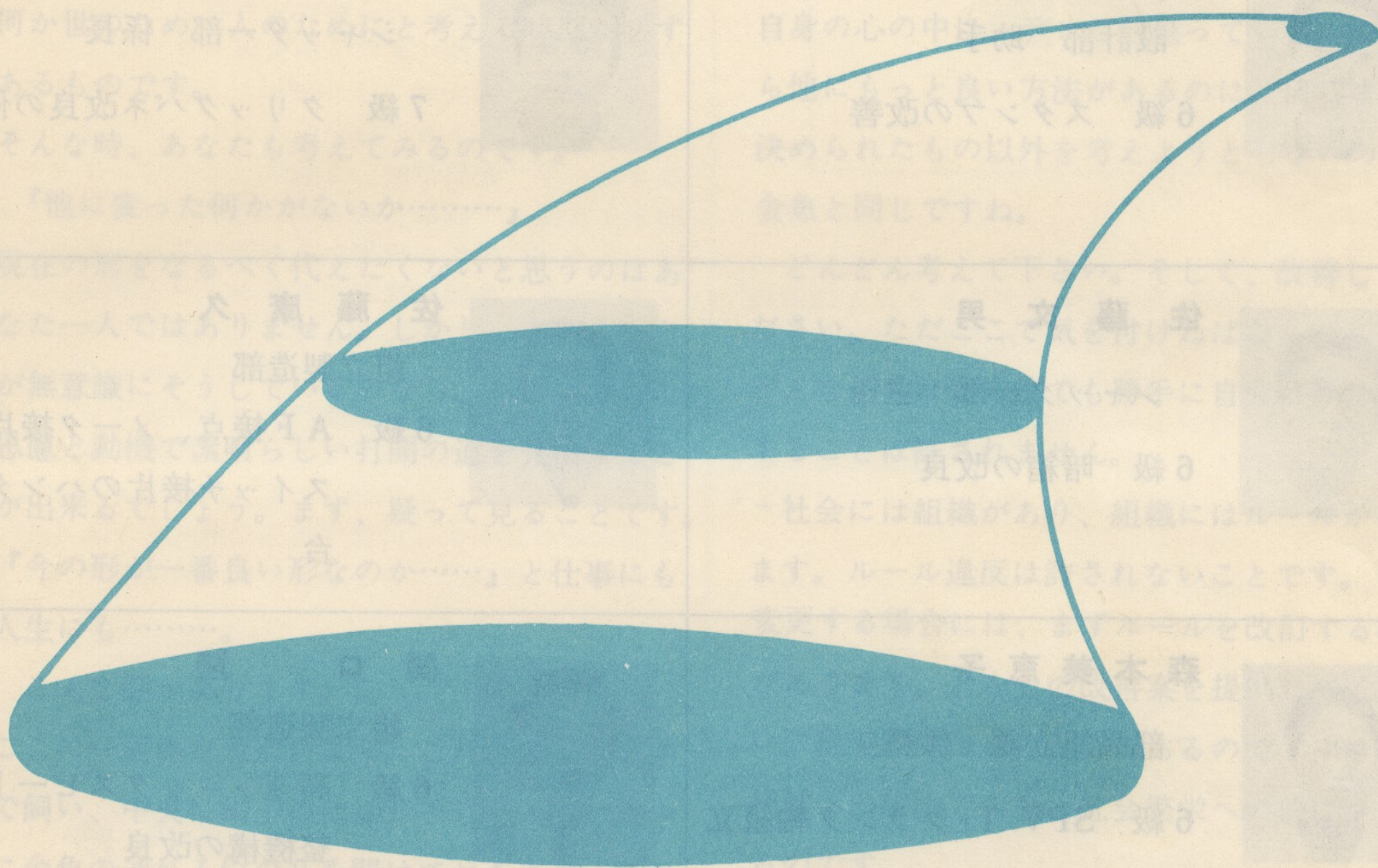


# IDEA

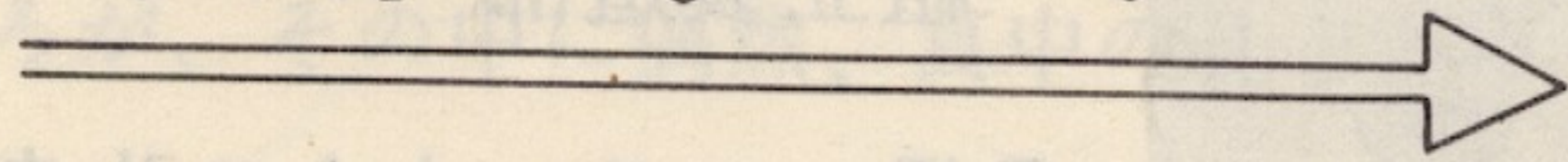
1967. 11.

14号

提案制度運営委員会 ・ 発行責任 企画 教 宣



今期のテーマ



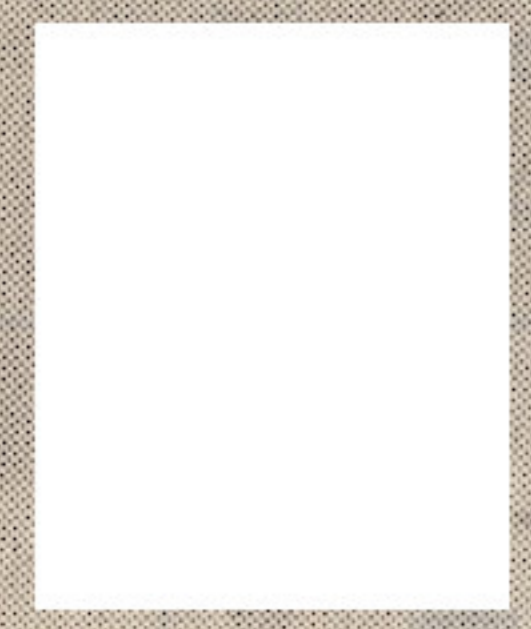
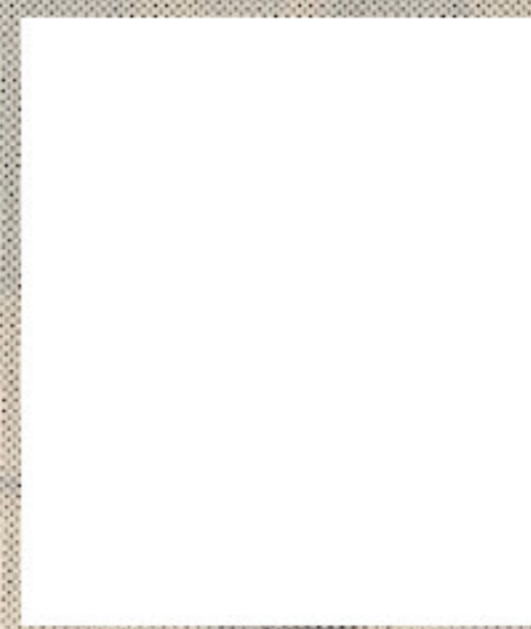
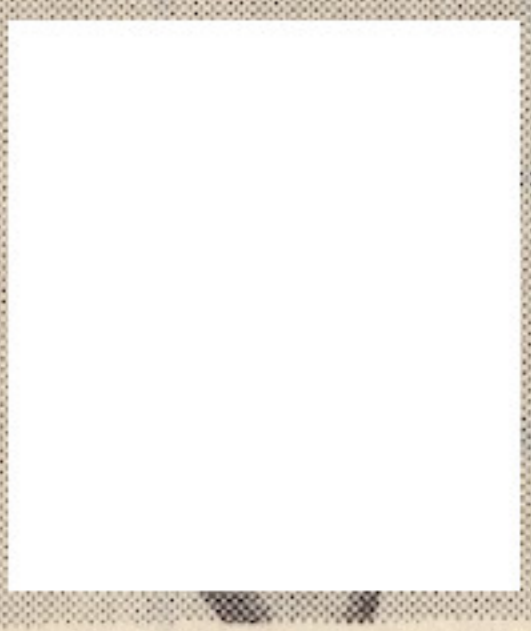

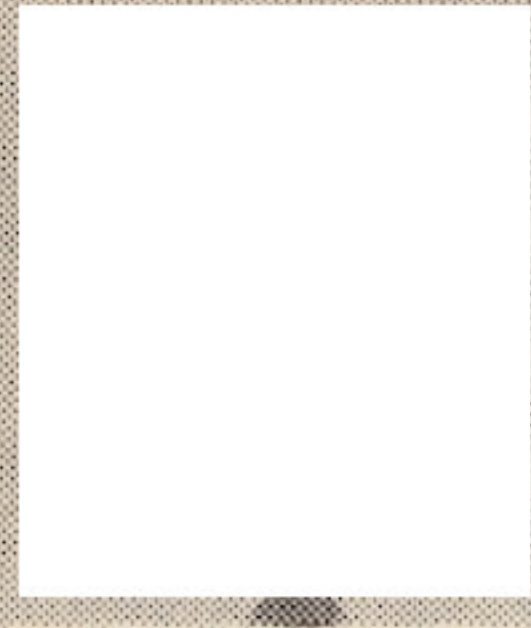




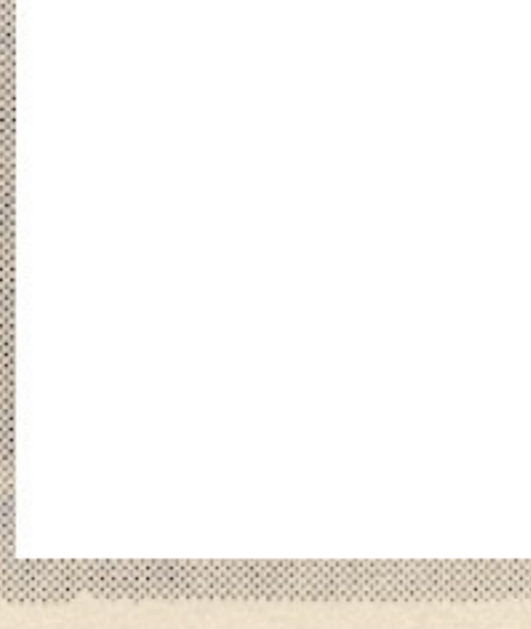

順調に作るには

☆ 11月1日より12月30日迄

品質向上月間

ペトリカメラ株式会社

# 42年10月期一般提案採用案件及提案者

 組立本部 主任 4級 SP絞りの改良	 組立製造部 6級 逆転止爪の改良 7級 SPV絶縁ワッシャーAの改良
 設計部 助手 6級 スタンプの改善	 シャッター部 係長 7級 クリックバネ改良の件
 シャッター部 主任 6級 暗箱の改良	 組立製造部 6級 AF接点、メータ接片、スイッチ接片のハンダ付台
 部品組立課 係長 6級 SPV. T <sub>1</sub> クランク軸組立 及締付治具の考案	 組立製造部 6級 高速シャッタスピード調整機構の改良
 品質管理部 7級 トルクドライバー先端の改良	 組立製造部 7級 ミラー止Aの改良
 生産管理部 6級 PI <sub>6</sub> 鏡胴の工程変更による原価削減	

# 金魚とみ、ず (習慣の惰性)

## 提案制度委員会

日照りの夏も、寒さの冬もただ黙々と働らくだけが最良の社会人ではありません。

決まった道路を決まった時間に、決まった乗物で通勤する、そして決まった仕事をして決まった道筋を帰る。そこには仕事の喜び、すなわち、生産の喜びを見失った人間のなんと多いことか……。一度、生を受けてこの世に生れた以上何か世のため、人のためにと考える時期が必ずあるものです。

そんな時、あなたも考えてみるのです。

『他に変わった何かがないか……』

現在の形をなるべく代えたくないと思うのはあなた一人ではありません。しかし、もしあなたが無意識にそうしているのなら、ちょっとした思慮と動機で素晴らしい打開の道を見出すことが出来るでしょう。まず、疑って見ることです。

『今の形が一番良い形なのか……』と仕事にも人生にも……。

こんな話があります。

ここに一匹の金魚がいます。これを硝子箱の中で飼い、中央に硝子の仕切りをして、その真中に金魚の通れる位の孔を開けておきます。それから、一方に金魚を入れ、他方に餌を入れると金魚は餌を求めて進み、中仕切の硝子板に衝突します。再び餌を求めて進み、又衝突します。ところが、その中に偶然、真中の孔を通過して、餌を口に入れることに成功します。

このような実験を、数多く繰返すと、その中に金魚は、「初めから、真中の孔を通過して餌を求めることが出来るようになる」とのことです。

ところが、次には、中仕切の硝子を外して金魚と餌を入れると、「なんと、金魚は元の孔のあった位置までワザワザ迂回して、餌を求めに行く」とのことです。

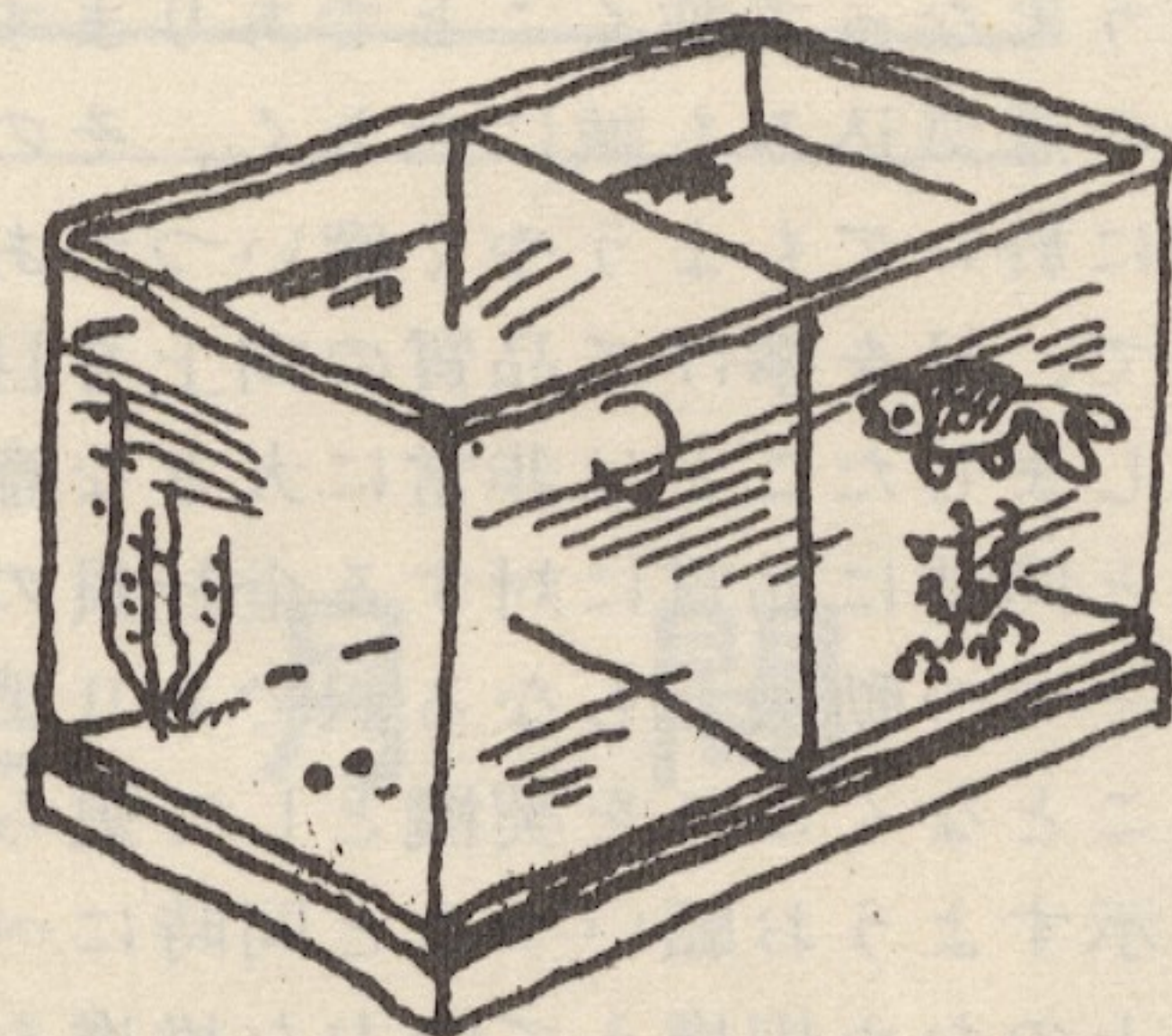
これは、既に“中仕切とゆう障害”が除かれ真直ぐな通路が出来たにも拘らず習慣のとりことなった金魚は、ワザワザ迂回した道を通るのであって、いかに「習慣の惰性」が恐ろしい力を持っているかを物語っているのです。

習慣の抵抗は、実に偉大な力を持っています。それは、決して“他の人”のことでなく“私達自身の心の中に、デンと居座っているのですから他にもっと良い方法があるのに、何時までも決められたもの以外を考えようとしないのでは、金魚と同じですね。

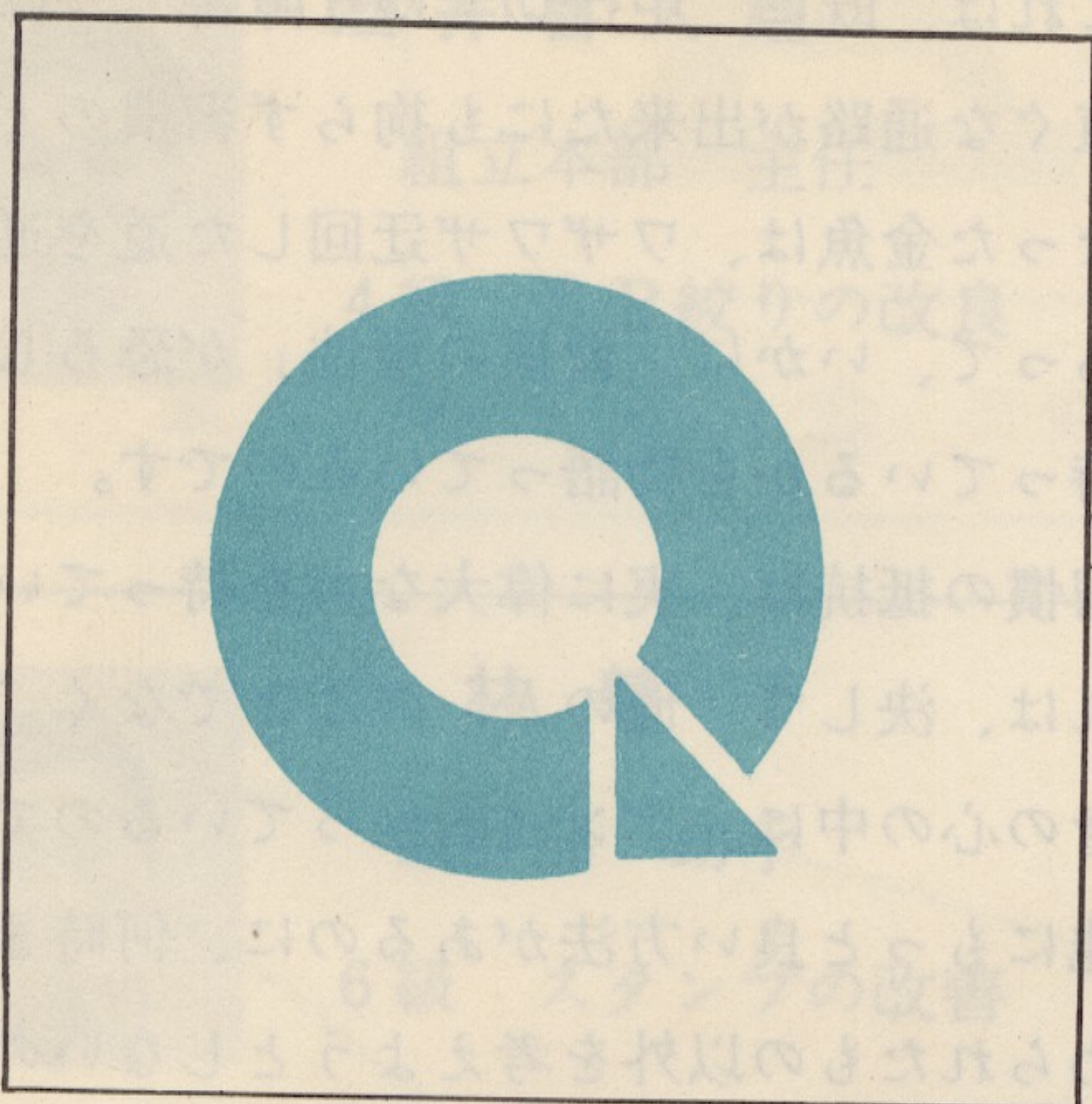
どんどん考えて下さい。そして、改善して下さい。ただここで気を付けねばならぬことは、どんなに秀れた方法でも勝手に自分だけで変更することは許されません。

社会には組織があり、組織にはルールがあります。ルール違反は許されないことです。変更する場合には、まずルールを改訂する必要があります。あなたの改善案を提供してください。提案制度はそのためにあるのです。それは経営への参画であり、社会繁栄への道につながるのです。

私達の生活水準を高めることは、社会国家へへ貢献することになり、そこにも人生の意義があるのです。



# 品質向上月間始まる



ペトリの品質が急速に向上しつつあることは周知の処です。しかしお客はもうこれで充分だとは決して云って呉れない。又吾々にしても完全無欠の物を造ることは仲々難かしいことであるとすれば、吾々は何時の場合にも常に良い品質の物を造ることに最大の努力をしていなければならないと云うことであります。

又最近では信頼性と云うことがやかましく云われて居りますが、信頼性を製品の中に造り込むためにはどうしたらよいかと云うこと。先づ信頼性は現場で造り込むものであると云うことを強調したい。次に一言にして云えば製造工程の途中で手直しを多く加えたもの程、故障を起す率が多く、基準通りに一つ一つ正しく確認されて出来上がったもの程、品質は良く信頼性の高い製品であることと云うこととあります。要するに知らないで、又不注意で造る不良やその他の作業ミスが非常に多い現状ではこれを撲滅しなければこれ以上の品質的向上は望めない訳であります。そしてその作業ミスを撲滅するためには作業員一人一人が品質に強い歓心を持ち、是非共仕事の前と後の正しい確認と云うことを習慣となるまで実践して身に付けて戴き自分のやった仕事の結果に対して誇りを持つようになって戴くこととあります。品質に対する会社の意気込みも誠に大きく、その組織、設備、人容等に於いてもようやく備いつつある今日この時に於いて、社を挙げて品質の向上を目指してこの月間を催しましたことは非常に大きな意義を持つものであると同時に品質に対する全社員の意識を向上強化する一つの動機ともなる訳でありますので、月間に限ることなくこれを契機として更らに強い意識を品質に示すようお願いすると同時にペトリカメラの品質向上のため相携えて強力な推進を計りたいと存じている次第であります。

# 「男女の仕事チェンジのすすめ」



「月に最初に行っていたのはぜひ女性の方にねがいたい」— こういう切なる希望がマジェ科学者の間にあるそうだ。理由はなにせ「女性はその生命力の強靱

なる点で到底男性の追随を許さぬ」からだそうである。現代医学の証明?によると男女にある生活上の(生命上の)苦酷な状態を与えその度合をしないで強めていくとやがてある時点で男性はダウンしてしまうがその時女性はまだ生命を保っているという。

さて諸君、以上のことが厳然たる事実だとすると「この仕事はチトきつからオンナノコにはムリだ」などという「非科学的」な放言はもう許されまい、靴下と女性は「戦後」強くなったのではなくて、アダムとイブの発生の瞬間からすでに強かったのでアッタ……そこで諸君提案であるが「一日市長、一日社長」やなんかとなんでもやってみよう、やらせてみようばかりの時代である一日ではわからないからひとつ一年ほど男性と女性の仕事をチェンジしてみてもどうか一政治をみてもまだまだ誤解と権力がすべてを支配している時代である。極端であるが案外お茶汲みのD子さんに管理能力を発見し「あなた」いや隣の係長氏にお茶汲みの能力を見出すかも知れない?……………

K・M記

# 安全衛生

本号より私達働く者の安全で健康で有るための24時間のリズムについて紹介します。

(1) 睡眠(めざめ) 一日は朝のめざめからはじまります。朝、さっぱりした気分が目さめたときは何か楽しいことがありそうな期待で、胸がふくらむものです。



この朝のめざめの満ち足りた気分は十分な睡眠を取って、前日の疲労がすっかりとり払われたことを意味します。睡眠が十分でなく、疲労が残っているときは、頭が重く、気分がはれません。疲労の回復には、睡眠がもっとも大事で十分の睡眠を取らねば、疲労は決して回復するものではありません。

睡眠が十分かどうかという睡眠の量は、睡眠の深さと長さに関係します。つまり(睡眠の量) = (睡眠の長さ) × (睡眠の深さ) という式で表わします。次は睡眠の長さについてお話します。

(安全衛生委員会)